

新しい学校づくり推進基本計画 構成(案)

第1章 「新しい学校づくり推進基本計画」とは

1 「新しい学校づくり推進事業」とは

「小田原市学校施設中長期整備計画」を着実に推進するために、早期に学校施設の改築・長寿命化改修に着手することを目指した取組で、「新しい学校づくり推進基本方針」と、それに基づいて策定する「新しい学校づくり推進基本計画」、「新しい学校づくり施設整備指針」の3つの方針・計画等を策定するもの。3つの方針・計画等を策定した後、中長期整備計画を見直し、改築・長寿命化改修の優先順位を反映させた実施計画を定め、整備に着手する。

2 基本計画策定の目的と構成

地域の学校配置の将来像として、地域単位の配置計画(どこにどのような学校をつくるか)をまとめる。

3 計画期間

令和8年度(2026年度)から令和47年度(2065年度)までの40年間

※中長期整備計画は令和3年度(2021年度)から令和42年度(2060年度)までの40年間

4 検討経過

新しい学校づくり検討委員会において検討

第2章 現状と課題

1 市立小中学校の現状

児童・生徒数の減少

支援を要する児童生徒の増加

施設の老朽化

学校教育の変化

教職員の働き方改革

学校と地域との関係

2 地域・学校別の現状分析

学校別の基本情報

児童生徒数・学級数推計(全市→地域→各校)

通学区域・通学距離・通学路の状況

第3章 「新しい学校」が目指す姿

1 「新しい学校」に求められるもの

「小田原市立小・中学校の教育環境に関するアンケート」を分析

2 「新しい学校」が目指す姿

基本方針第4章や整備指針を踏まえ、「新しい学校」のイメージをハード・ソフトの両面から「見える化」する

第4章 学校配置案の検討

1 検討単位(地域割)

地域	小学校	中学校
中央・片浦	三の丸 新玉 足柄 芦子 山王 町田 久野 大窪 早川 片浦	城山 白鷗 白山 城南
富水・桜井	富水 桜井 東富水 報徳	泉 城北
川東	下府中 酒匂 千代 国府津 下曾我 曾我 矢作 豊川 富士見	鴨宮 千代 国府津 酒匂
橘	前羽 下中	橘

2 検討の前提条件

規模(児童生徒数／通常の学級数)

ハザード

分散進学の解消

通学距離

学区と自治会区域の整合

3 地域別の配置案(全体像、スケジュール含む)

※委員会では、事務局が提示した配置案について、前提条件との整合等を考慮して検証、精査し、基本計画に盛り込む配置案をまとめる。

第5章 財政計画

1 整備費シミュレーション

2 運営費も含めたコスト削減策

3 資金調達(補助金など)

第6章 計画の推進に向けて

1 地域別の検討プロセス

2 推進方法・体制

3 スケジュール

4 計画の継続的運用方針(評価、見直し等)

5 その他の配慮すべき事項